

**近畿圏の「住宅の買い時感」は大幅に上昇
今後の消費税増税を見据え、住宅の購入希望時期も「2年以内」が増加
～長谷工アーベスト 『顧客マインド調査（7月）』より～**

（株）長谷工アーベスト（本社：東京都港区、関西支社：大阪府中央区 社長：岡 正徳）は、近畿圏居住者（以下、モニター）に対し、2012年7月にWEBアンケート『顧客マインド調査』を実施し、住宅の買い時感について分析を行いました。

その結果、「買い時だと思う」方が2012年4月調査（以下、前回調査）より大幅に増加し、昨年の東日本大震災で低下した「買い時感」は震災前の水準以上に回復しました。

「買い時だと思う理由」では、現在の“買いやすい市場環境（低金利・低価格・住宅購入の優遇政策）”に加えて、現実味を増してきた“今後の消費税増税”を意識して、「今は買い時」と捉える方が増加している様子が窺えました。また、現在住宅購入を検討されている方の購入希望時期も、消費税増税前にあたる「2年以内に購入したい」という方が年初の2012年1月調査（以下前々回調査）よりも増加しており、今後の住宅購入検討の高まりが期待されます。

■「住宅の買い時感」・「住宅の買い時感DI_※」について（グラフ①、②）

住宅の買い時感を前回調査と比較すると、「買い時だと思う」と回答した方が、+9ポイント（23%→32%）と増加し、「買い時だと思わない」と回答した方が、-3ポイント（24%→21%）と減少となりました。住宅の買い時感DIについては、+11ポイントと前回調査より上昇。震災前を超える水準に回復し、震災以降初めてプラス水準まで転じる結果となりました。

※住宅の買い時感DIの算出方法：「買い時だと思う」の数値から「買い時だと思わない」の数値を差し引いて算出

■「買い時だと思う理由」「購入希望時期」について（グラフ③、④）

「買い時だと思う」理由については、「低金利・低価格・税制面での住宅購入の優遇策」等の買いやすい市場環境が依然として上位なものの、「今後、消費税の引上げが予想される」が2012年1月調査よりも+13ポイント（63%→76%）増加しており、今回の買い時感の上昇に大きく寄与しているものと思われます。また、現在住宅購入を検討されている方の購入希望時期をみると、2012年1月調査と比較しても、「2年以内での購入」を検討されている方が、+12ポイント（46%→58%）増加し、約60%を占めるまでとなっています。

【この件に関するお問い合わせ先】
（株）長谷工アーベスト 関西企画部
つぐも
部長 九十九 正司
TEL 06-6203-3920

【長谷工アーベスト 顧客マインド調査】

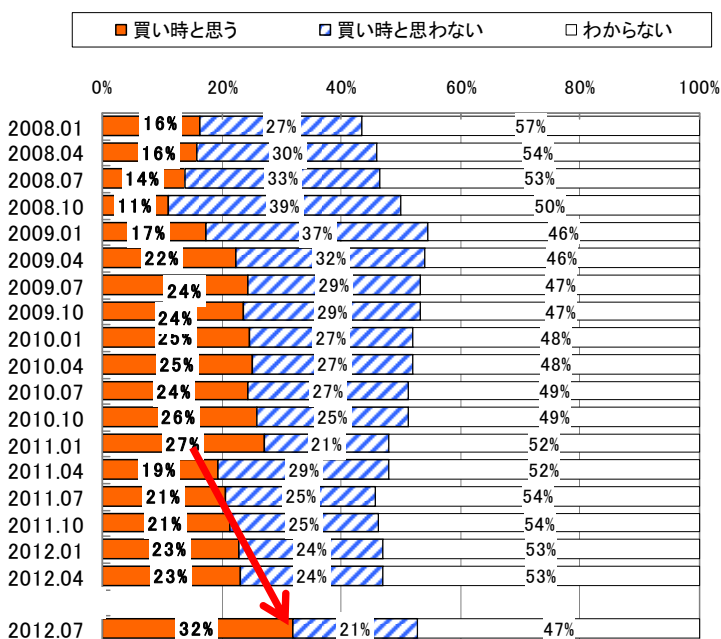
【調査概要】

調査対象 モニター（近畿圏在住）
 調査手法 WEBアンケート
 調査実施日 2012年7月5日アンケートメール配信、7月9日締切
 有効回答件数 モニター： 943件

■ 「住宅の買い時感」について

(グラフ①)

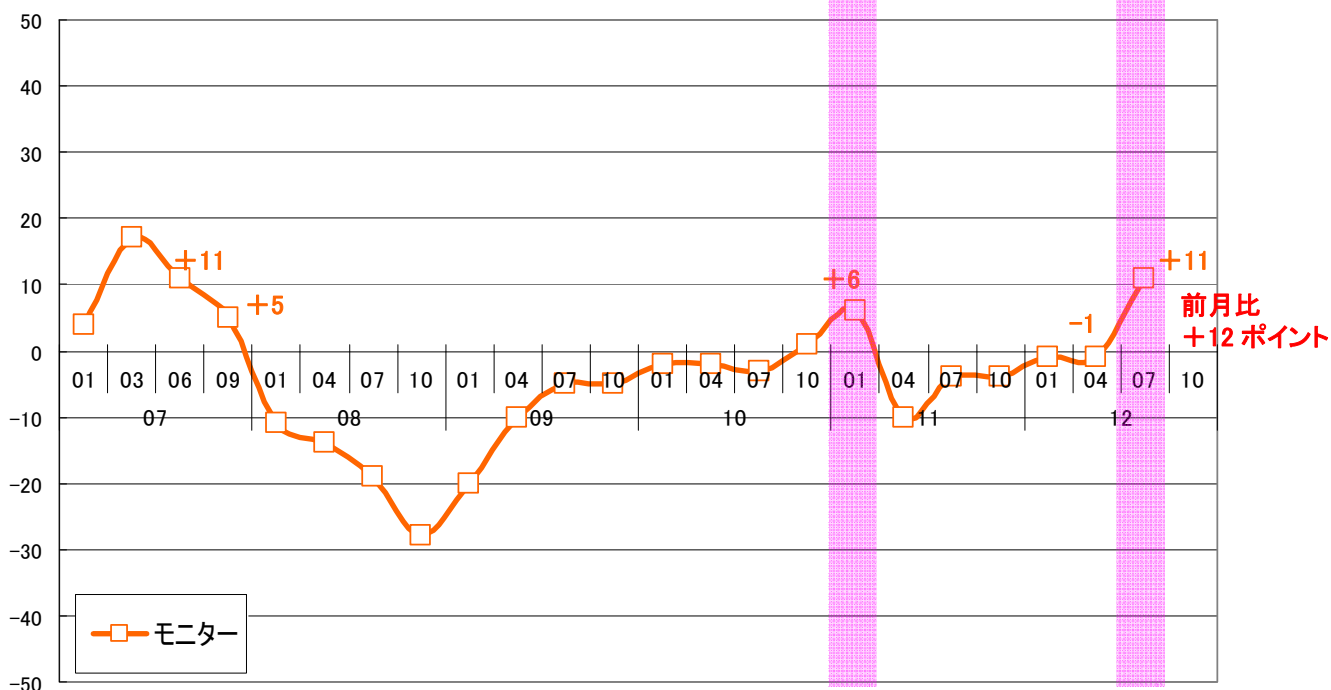
Q. 今は、住宅の買い時だと思いますか？

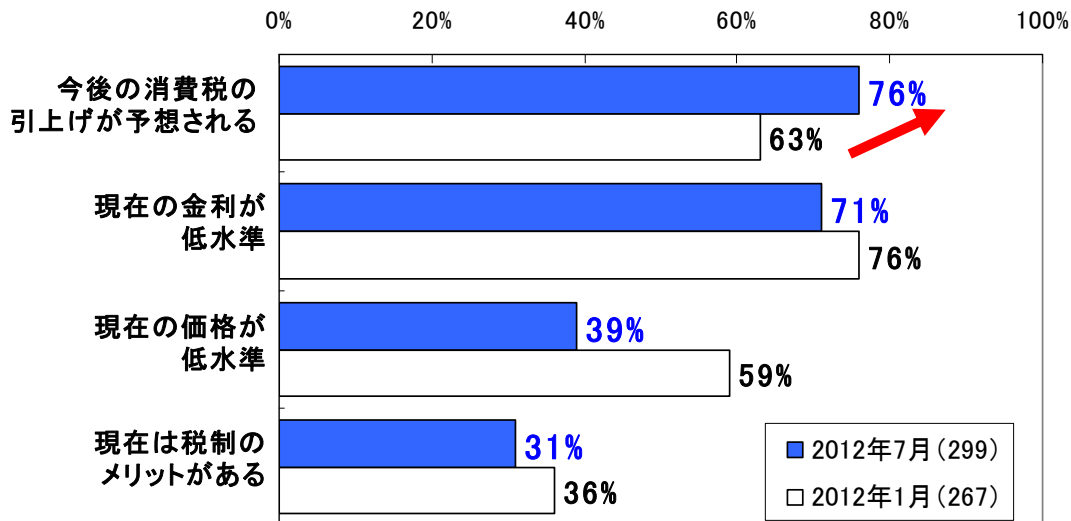


■ 「住宅の買い時感」DIについて

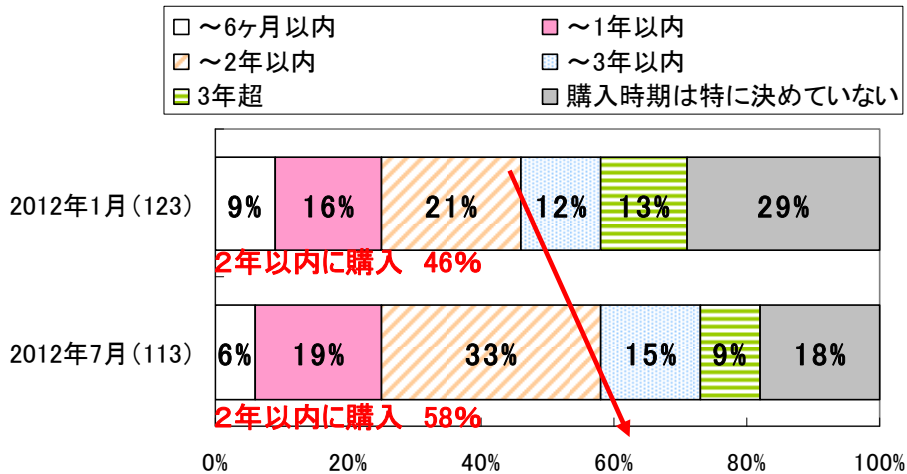
(グラフ②)

【買い時感DI】





Q.住宅の購入はいつぐらいまでにお考えですか？ (現在住宅購入を検討されている方)



- ・ このままいけば消費税が上がりそうなので、上がる前には購入したい。
(30代・2人家族・神戸市)
- ・ 消費税の増税が具体的になってきたので、今年こそ良い物件があれば購入を検討したい。
(30代・3人家族・堺市)
- ・ 数年にわたりMR見学を続け、購入は遠い将来の予定であったが、消費税アップが現実的になって、購入を真剣に考えるようになりました。(30代・2人家族・堺市)
- ・ 消費税が26年4月に増税のニュースが出て、それまでに購入をした方がよいと思って探し始めた。
(30代・3人家族・尼崎市)
- ・ 社宅で負担なく住んでいるが、将来消費税が上がることを考えて検討を始めた。
(30代・2人家族・守口市)
- ・ 消費税が上がる可能性を考えると、今決断しておいたほうが良さそうですね。高い買物なので契約した後にはいい物件がでるのでは・・・となかなか決断ができなかったのですが、ようやくできそうです。
(40代・3人家族・大阪市)